

学びの 広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会

公民館活動 生涯学習
文化振興 学校 スポーツ



伊勢堂岱遺跡

～一般公開が始まりました～

伊勢堂岱遺跡で今年的一般公開が始まり、オープニングセレモニーが開かれました。

小雨がこぼれるあいにくの天気でしたが、休日のボランティアガイドを担当する伊勢堂岱遺跡ワーキンググループ、市教育委員会の関係者が参集し、今年度公開の安全を祈念するとともに、世界遺産登録に向けた取り組みを積極的にPRしていくことを確認しました。

今年は、3～4月に環境整備の一環として遺跡北側の杉の木を伐採し、縄文時代の景観の復元を行い

功労賞受賞

～県生涯学習奨励員協議会会長賞～

5月13日、秋田県生涯学習奨励員協議会総会で、北秋田市生涯学習奨励員の工藤光子さん（合川在住）が秋田県生涯学習奨励員協議会会長賞（功労賞）を受賞されました。

工藤さんは、合川町時代から引き続き生涯学習奨励員を務め、貼り絵の講師として地域の子どもたちや一般の方々に指導しているほか、最近では、環境にやさしいエコリサイクルのちぎり絵の作成と指導にあたるほか、長年、地方史研究会員として、生涯学

総合的な学習

～伊勢堂岱遺跡～浜辺の歌音楽館～

5月11日、鷹巣中学校の1年生約120名が、市内の文化施設などを巡り伊勢堂岱遺跡や浜辺の歌音楽館の見学に訪れました。

これは総合的な学習の時間の一環で「北秋田市を



伊勢堂岱遺跡において、説明を聞く生徒のみなさん

ました。そのため遺跡北方の眺望が開け、白神山地の山並みが良く見えるようになりました。最近の研究では縄文人も集落からの眺望・景観を重視していたと考えられており、関係者は「伊勢堂岱遺跡の新たな魅力としてアピールしていきたい」と話していました。

今年の公開は11月3日までです。ぜひ、ご家族でご見学ください。



関係者によるオープニングセレモニー

習の推進に多大な貢献をされています。今後、さらなるご活躍を期待いたします。



県生涯学習奨励員協議会会長賞を受賞した工藤さん

PRする新聞」づくりのため取材に訪れたもので、ユネスコ世界文化遺産登録を目指す伊勢堂岱遺跡、成田為三の業績などについて、職員の説明に耳を傾けながら熱心にメモをとっていました。

教科書展示会のお知らせ

平成23年度に使用する教科書の見本（小中学校・高校）を展示します。各教科書会社から出版された教科書を実際にご覧いただけます。

期間 6月18日(金)から7月1日(木)
時間 10時～18時 最終日は16時まで
場所 市交流センター
問合せ 北教育事務所 ☎62-1217

市内を花でいっぱい

花いっぱい運動推進協議会

花の苗を販売します

今年も花の苗の販売を行います。販売当日は大変混み合いますので、中央公民館にあらかじめ花の種類、本数をお申し込みください。

販売場所

さかえフラワーセンター（北秋田市栄地内）マックスバリユたかの店の道路をはさんだ北側

種類と価格

・マリーゴールド 20円
・（黄、オレンジ、混合）
・サルビア（赤） 30円
・アゲラタム 30円

申込期間 6月10日（木）～21日（月）
販売日時 6月26日（土）27日（日）
午前5時30分～午前9時
・当日購入する方
6月27日（日）午後3時～5時

当日は苗を入れる物（ダンボール、発泡スチロール等）を忘れずにお持ちください。

なお、本数には限りがありますので、先着順とし、数量に達した時点で締め切りとさせていただきます。

申込み・問合せ
北秋田市花いっぱい運動推進協議会
（中央公民館内）☎62-1130

森吉公民館講座募集

申込み・問合せ ☎72-3259

作品募集～書く生涯学習誌

『木精～えこお～』第53号

『木精』にあなたも投稿してみませんか。

体験談、エッセイ、伝聞、小説詩、短歌、川柳など、テーマは問いません。対象は北秋田市在住、または出身の方。原稿/手書きの場合は原稿用紙、パソコンの場合はWord(A4)長編の場合は400字詰原稿用紙換算で30～40枚程度。作品にタイトル、著者名、本名でなくても可を付記してください。締切/11月30日（火）

住所、氏名、連絡先電話番号を添えて森吉公民館へお申し込みください。

「前田地区移動講座」 ガーデニング教室

～夏のお花の植え方と育て方～

日時/7月6日（火）
午前10時～12時

場所/四季美館前田（講師/加藤由美子さん）
内容/夏の花の植え方と育て方
定員/15名（先着順）
持ち物/移植ばら、ゴム手袋、ビニール袋大）
材料費/800円程度

申込み・問合せ
森吉公民館へお申し込みください。

ふるさと文化財

北秋田市指定有形文化財

（彫刻）

28

「石造延命地藏菩薩立像」

所在地・今泉（墓地内）
所有者・今泉自治会

この立像は、今泉集落共同墓地内の小さなお堂に安置されています。高さ1.8mで、人間の身長とやや同じで、右手に錫杖を、左手に宝珠をもって西方向（二ツ井方面）を向いて立っています。

元禄時代の頃（1668年）で、当時この地域の豪農であった佐藤七郎兵衛が二体の立像を京都から取り寄せ、一体を自分の墓地に安置したといわれます。もう一体は、温泉寺（大館市二井田賢の里33）の堂内に安置されています。

石の種類は花こう岩で通称、サクラムカゲ石（桜御影石）と言われ、ピンク色をして明るく美しく、石肌が柔らかくそれで桜色に見えます。

阿仁・合川・鷹巣地区から材木や銅や米などを積んで能代港を出た船が、帰りは船の揺れを防ぎ安全な航海になるよう祈り、重い石材を船底に積んだといわれます。

阿仁地区の寺院境内に見られる多くの石仏や石塔は、兵庫県や岡山県の上地方が産地といわれる花



石造延命地藏菩薩立像

こう岩で作られていることから、鉾山町の歴史と深い関わりがあるものと考えられます。

大館、北秋田市内の石仏や石塔等は182体で、そのうち阿仁地区には84体の墓塔、供養塔、地蔵、灯籠、水鉢、観音様があり、延宝1673年（から享保1716年）年間に集中しています。

立像は、地区住民の協力により建てられた堂の中に安置されており、地区の人たちはお盆、彼岸には必ず参拝するといわれます。

温泉寺の「延命地藏菩薩立像」は、赤い衣を身につけていて参拝されているようでしたが、今泉の菩薩立像と同じ背文・素材です。

昭和53年2月1日指定
資料/鷹巣町の文化財、秋田の有形文化財、鷹巣町史、北鹿は宝箱、米代川の舟運、ほか
紹介者/北秋田市文化財保護審議会委員 照内捷一